

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2011年6月

## 平成22年度電気材料安全・規格委員会活動報告

電気製品の安全性確保に果たすプラスチックの役割の重要性を認識し、関係団体と協力して電気製品の安全規格、及びそれに使用されるプラスチック関連試験規格の制定並びに改訂の動向を把握すると共に、業界の意向反映を行ってきた。

### 1. (社)電子情報技術産業協会(JEITA)との連携

電気材料安全連絡会で、電安法技術基準改正等の情報およびUL等材料規格の情報について情報交換と意見交換を実施した。IEC/TC89(耐火性試験)内に発足した新プロジェクトチームPT60695-1-13の紹介を行った。

### 2. 電気用品部品・材料認証協議会(CMJ)登録制度への対応

CMJ運営企画委員会および材料部に委員を派遣し、電安法技術基準省令第1項改正に伴う、CMJ材料登録項目への「耐トラッキング性」追加検討の審議に参加した。業界としての意向を反映させるべく、提案書の審議、コメントの作成、及び意見提言を実施した。

### 3. 電気安全および使用材料に係る規格への対応

関連する国内委員会と国際会議に委員および専門家である特別委員を派遣して、動向の早期把握と業界の意向反映を行った。

#### (1) IEC/TC89(耐火性試験) / (財)日本電子部品信頼性センター(RCJ)

##### ① IEC/WD 60695-1-13(火災安全評価のクラス分け方法) PT 60695-1-13

本プロジェクトに委員を派遣し、審議に参加した。一部で、試験の再現性を考慮せず判定基準を独自に設けている場合がある為、各試験法及び判定基準について適切な運用を各規格委員会に求めていく事が合意された。

##### ② IEC 60695-2-10(グローワイヤ試験装置) WG12

熱電対によるグローワイヤ温度検出について再現性が低い問題があり、電流値測定による再現性の補完法をAnnexとして4th CDに採用する事が合意された。更に温度検出ばらつきを現在の $\pm 15^{\circ}\text{C}$ から $\pm 5^{\circ}\text{C}$ に低減する案を、各国で検討する事で合意した。

##### ③ IEC 60695-2-12, 13(グローワイヤ材料試験) WG12

日本提案のGWFI、GWITのばらつき低減を可能にする試験手順の見直しが採用され、IS第2版が出版された。しかし秋季国際会議で合意したはずの技術的誤記の修正が実施されなかった為、日本より修正案の提出を検討中。

##### ④ IEC 60695-2-11(グローワイヤ製品試験) WG12

製品規格で要求されているグローワイヤ試験について、合否判定を現在の1種類から、4種類のクラス分けに変更し4th CDを回覧。

##### ⑤ IEC 60695-10-2(ボールプレッシャ試験)

IECEE-CTL(試験所委員会)よりボールプレッシャ試験判定ばらつき改善要求があり、今年度より改訂審議が開始された。日本より電気用品調査委員会の定めたB法を改良した、へこみ深さによる判定法を国際会議に提案した。改善効果の確認要望があり、現在国内の協力機関と試験実施中。

##### ⑥ IEC 60695-11-10(50W火炎による燃焼性試験)、IEC 60695-11-20(500W火炎による燃焼性試験) WG12

500W火炎試験の再現ばらつき改善治具を提案し、日本をプロジェクトリーダーとして7カ国間でラウンドロビン試験を実施することが合意され、次回国際会議に向けて試験実施中。

##### ⑦ IEC 60695-2-20(ホットワイヤ試験) WG12

再規格化に向け、試験装置、試験手順の見直しを行い、6カ国間でラウンドロビン試験を実施中。

#### (2) IEC/TC108(オーディオ・ビデオ、情報機器、通信技術分野における電子機器の安全性) / (社)ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)

TC108国内委員会、HBSDT分科会およびWG環境分科会に委員を派遣した。

(3) IEC/TC111 (電気・電子機器、システムの環境規格) / JEITA

TC111 国内委員会に委員を派遣した。RoHS 指令に関わる規制化学物質試験方法 (IEC 60321) の改訂作業中であり、今後も状況を確認していく。

(4) IEC/TC112 (電気絶縁材料及びシステムの評価と認定) / (社)電気学会

TC112 国内委員会、及び JIS 原案作成委員会に委員を派遣し、活動状況を確認した。プラスチックに関連する多くの電気特性試験規格が IEC62631 シリーズ規格に順次移行予定なので、審議状況、及び改訂の影響を確認していく。

(5) UL 関係

UL の規格 (UL94,UL746A,B,C) の改訂状況を把握し、報告した。

UL 及び UL 認定試験所における燃焼試験の試験者間のばらつき把握を目的とした試験プログラムに対し、試験片・試験材料の提供等の協力を実施し、データ解析、課題点の把握、及び改善の方法について意見提言を実施した。

以上

日本プラスチック工業連盟  
電気材料安全・規格委員会